

特別研究を担当する教員の研究内容等一覧

【重要】出願前に指導希望教員と必ず連絡を取ってください。

【注意】下表は研究領域別の教員の研究内容等です。学生の受入れに当たっては、両プログラムの相談に応じることが可能です。

【情報科学研究領域】

教 員 名	研 究 内 容
天野 一幸	計算量理論，アルゴリズム，機械学習
奥 寛雅	ダイナミックイメージコントロール，高速画像処理，高速光学素子
奥貫 圭一	都市・地域解析論，地理情報科学
加藤 毅	バイオインフォマティクス，機械学習，統計解析
柴田 博仁	ユーザインタフェースデザイン，認知科学
嶋田 香	進化計算，知識発見とデータマイニング
地村 弘二	ヒトの認知神経科学，神経情報学，決定神経科学
鈴木 裕之	制御・システム工学，光工学，光量子科学
※関 庸一	データマイニング，統計的学習理論，応用データ解析
照屋 保	数理解析学
中野 眞一	グラフアルゴリズム，情報の可視化，離散最適化
青山 一真	情報学，人間情報学
荒木 徹	グラフ理論，グラフアルゴリズム，組合せ最適化
安藤 崇央	ソフトウェア工学，形式手法，スマートモビリティ
石井 基裕	代数学，表現論
大下 達也	整数論
大塚 岳	幾何学的運動方程式による界面の発展現象の解析
片山 佳代子	疫学，社会医学，健康行動科学
河西 憲一	待ち行列理論，通信トラヒック理論，情報通信システムの性能評価
齋藤 翔太	情報理論とその機械学習への応用
高木 理	医療情報学，形式手法
千田 浩司	データプライバシー，暗号，情報セキュリティ
永野 清仁	最適化理論，機械学習，ネットワーク最適化
※藤田 憲悦	プログラミング言語，プログラムの基礎理論，数理論理学

※印のある教員は，2025 年 3 月末に退任予定です。

【社会情報学研究領域】

教員名	専門分野	指導可能な研究テーマ
石川 真一	生態学 環境科学 植物生理学	・土木工事など人為による地域の生物環境改変実態の解明 ・地球温暖化対策としての植物のCO2吸収量の推定 ・地域の自然再生における絶滅危惧植物の保全
井門 亮	言語学 語用論 関連性理論	・語彙概念の語用論的解釈に関する研究 ・関連性理論に基づいた修辭的表現の分析 ・発話解釈における談話標識の役割について
伊藤 賢一	理論社会学 情報社会論	・情報化の進展と社会変容に関する社会（学）理論の探求 ・社会学理論，社会学史の学説研究 ・青少年のインターネット利用におけるリスクとその対策
岩井 淳	社会情報システム学 意思決定支援論	・匿名性保証に着目した意思決定支援システムの開発 ・社会的選択理論の情報学的展開 ・電子的なコミュニケーションとストレス対処
柿本 敏克	社会心理学 グループ・ダイナミックス	・仮想世界ゲームを用いた集団内・集団間ダイナミックスの解明 ・インターネット環境における人間関係 ・食におけるリスク情報が信頼性判断に及ぼす影響
河島 基弘	社会学 比較文化論 環境倫理	・人間と動物の関係についての歴史的・比較文化論的考察 ・メディアによる他文化表象の研究 ・新聞や放送などマスコミ業界の問題分析
小竹 裕人	公共政策論 政策分析	・計量分析による政策選択 ・地域課題解決のための次世代モビリティの可能性 ・地理情報システムを使った政策情報分析
坂田 勝彦	地域社会学 福祉社会学 社会問題論	・戦後日本の開発主義と地域社会に関する生活史的研究 ・地域における福祉課題の調査・研究（特に障害福祉，高齢福祉） ・社会問題に関する質的研究法による調査・研究
杉山 学	オペレーションズ・リサーチ 経営科学 経営情報学	・総合評価を行うための数理的意思決定支援手法（DEAやAHPなど） ・公共事業体や電力事業体などに対する経営効率分析 ・首都機能移転計画における候補地の総合評価
※高山 利弘	日本文学 言語文化	・説話や伝承における言語情報の伝達 ・軍記文学および歴史文学をめぐる諸問題 ・古典文学作品や日記・記録等に基づく古代社会の諸相の解読
西村 尚之	森林生態学	・森林生態系保全の基礎となる森林の成り立ちの解明 ・森林の長期的な変化と環境変動との関係の解析 ・森林生態系の種共存を解明する研究
西村 淑子	行政法 環境法	・行政事件訴訟の要件 ・公害・環境訴訟及びADR ・ハンセン病行政の歴史的検証
※※野田 岳人	国際関係論 ロシア・旧ソ連地域研究	・国際関係理論，国際レジーム論 ・ナショナリズム論，民族間関係の研究 ・ロシア，ウクライナなど旧ソ連諸国の研究

※印のある教員は，2025 年 3 月末に退任予定です。

※※印のある教員は，2026 年 3 月末に退任予定です。

教員名	専門分野	指導可能な研究テーマ
※※結城 恵	教育社会学 多文化共生 質的調査法	・ グローカルな視点による地域創生の理論と方法の研究 ・ 多文化共生社会に貢献する人財の養成と活用方法に関する研究 ・ 質的方法, 特に, エスノグラフィの理論と実践に関する研究
江良 亮	実証経済分析 開発経済学	・ 社会インフラと経済発展との関係 ・ 応用計量経済分析 ・ 情報化と産業構造の変化
大野 富彦	経営学 経営組織 サービス・マネジメント	・ 観光地経営組織とステークホルダーの関係性マネジメント ・ 地域企業の CSV (Creating Shared Value : 共通価値の創造) の展開 ・ サービス産業 (特に旅館・ホテル) の組織マネジメント
金 宰弘	会計学 環境管理会計 CSR マネジメント	・ 企業の財務・非財務データを用いた実証的研究 ・ マネジメントシステムの設計と運用における会計情報の活用 ・ 環境・CSR マネジメントにおける会計手法の導入
坂本 和靖	計量経済学 労働経済学	・ 養育期における家庭環境と子どものその後の成長との関係 ・ ワーク・ライフ・バランス施策の政策評価 ・ 回答拒否による推計バイアスの計測
高井 ゆと里	西洋哲学史 生命倫理学	・ テキスト解釈の手法による西洋哲学史の研究 ・ 概念的論究を主とした生命倫理学領域の諸研究
鳶島 修治	計量社会学 社会階層論 教育社会学	・ 社会調査データの計量分析 ・ 社会階層と不平等に関する研究 ・ 教育達成過程の実証的研究
平田 知久	メディアの社会史 比較社会学 近現代思想	・ メディア技術, 情報, 利用の展開と影響に関する歴史的/実証的研究 ・ アジア諸国/諸都市のメディア利用に関する比較社会学的研究 ・ メディアと思想/社会哲学の連関に関する研究
藤井 正希	憲法学	・ 個人の尊厳の概念, 人権の歴史, 憲法成立史などの憲法総論 ・ 平等権, 自由権, 社会権など憲法上の個別的な人権カタログの研究 ・ 立法, 行政, 司法, 財政, 地方自治などの憲法上の統治制度の研究
牧原 功	日本語学 言語学 日本語教育学	・ 日本語の統語論, 語用論, 意味論に関わる研究 ・ 日本語と他言語との対照研究 ・ 対照研究の知見に基づいた日本語習得に関わる研究
大和 啓子	日本語学 談話分析 日本語教育	・ ポライトネスに関わる言語行動・表現研究 ・ 日本語を中心とした談話研究 ・ 非母語話者の日本語運用に関わる研究

※※印のある教員は、2026 年 3 月末に退任予定です。